仲間と協力 心一つに
次を創る 松本っ子

GO, NEXT!

～ゴー ネクスト！「次を、創る。」～
自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける人



福井市松本小学校　学校だより
令和８年１１月１６日　第９号
TEL　22-8813　　FAX　22-8892
Mail　matsu-e@fukui-city.ed.jp

「次を創った！！」第3回松本フェスティバル 大、大、大成功！！



「仲間と協力　心一つに　次を創る　松本っ子」。このスローガンを、松本っ子は見事に体現してくれました。松本っ子の想いが天まで届き、雲が去った後には青空がいっぱいに広がり、素晴らしいパフォーマンスが繰り広げられました。「自分たちで決めたこと。だから、責任をもってやり遂げる。本気を見せる。一発で決める！」を出し切った412名に、そしてこれまでの過程を見守り支え続けた職員に、感極まる思いがこみ上げます。本当に素晴らしかった！！感動を、ありがとう…。

ここで、松フェスを終えた6年生からの声を、紹介します。

「これまでの体育大会では、『〇年生は△△をします』のように先生が競技を決めていましたが、今年は、今までの2回の松フェスと同じように、『自分たちで考えて、自分たちで決めて行動する』運動系の松フェスになったから、満足度は100％です！」

「(担当した係は)自分が望んだ係ではなかったが、やってみると思っていたより楽しくて、係の仕事をしているうちに、この係で良かったと思えるようになった。」

「(3回の松フェスを経験したことは、)これからの学校生活や進学後にも、とても役に立つと思う。松フェスは、日々の学校生活で、学んで経験してきたことを生かして、成功できたからだ。」

「今年のキーワード『次を創る』を目標に、みんなで松フェスを行ったと思うので、よかったと思うし、この経験はこれからの役に立つと思う。」

「3回松フェスをやって、1、2回目は総合の発表系で、3回目はスポーツ系で行った。違うことも取り入れてやってきた。来年は全3回の事を生かして、さらに松フェスを盛り上げてほしい。」

学校だより第3号(5月発行)で、「6年間というスパンの中、発達段階に応じた支援を行い(中略)、力をつけ続ける。6年後の姿として、『自分たちの課題を解決する。その過程を、自分たちの言葉で語る』松本っ子を目指す。」と書きました。まさにそのめあてを果たそうとしている6年生が、自らの過程を自らの言葉で語っています。つながり合って果たす学校教育活動の過程で力をつけた子どもたちが、最後には自力で育っていく姿を、私たち大人に見せてくれています。これは本当にすごいことだと感じます。





そして、次も芽生え始めています。「来年もみんなで協力し、次を創って活動していこう！」「来年は、いよいよ自分たちが創る番だ！」「ガチで！ガチで！来年も、成功させよう！」「来年の松フェスも、元気いっぱい、笑顔いっぱいの松フェスにしよう！」と、これらは5年生からの声です。学年を越えて、つながり合って展開されていく松本小での学びを、これからも松本っ子主体で果たしていきたいです。

第3回松本フェスティバル当日は、たくさんの保護者の方や地域の方に、子どもたちの輝く姿をご覧いただき、本当にありがとうございました。

























○次号では児童感想をお届けします…お楽しみに！